

あけぼの山農業公園に

野生の

カメ

が現れた

2025年
9月7日(日)



あけぼの山農業公園の池に、カメが現れた。外部からやってきたカメは、蓮の根を食べてしまうのではないかと、心配されている。

カメたちは、どのようにやってきて、次の世代を育んでいるのだろう。

近くの川で捕まえたカメを、科学館で小学生たちが調べたところ、オスの年齢は皆、同じだった。調べてみると、カメの性別は卵の時に経験した温度に左右されるらしい。

では、卵の温度が変わると、卵の中で何が起きて、どのように性別に影響するのだろう。第一線の若手研究者から、最新の成果を聞いてみよう!!

10:00~11:00 講演

卵の温度が決めるカメの性別

赤司 寛志 氏(駒澤大学 講師)

11:00~11:30 フィールドワーク

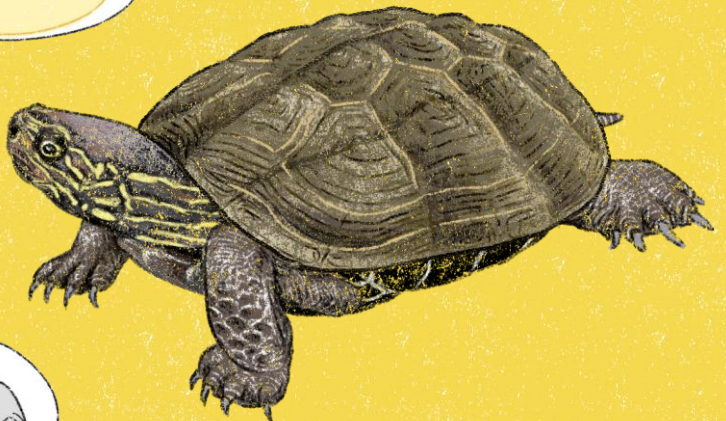
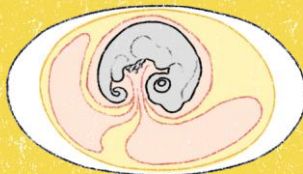
公園内の池にカメを探す

集合 あけぼの山農業公園 本館2階研修室
対象 小学3年生以上 とその保護者(先着順)
定員 40名
参加費 1,500円/人
持ち物 水筒、日傘など外を歩く対策
申込 Webにて事前にチケットをお求めください

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/024p0eb0b0xm41.html>



お申込みはこちら



講演

赤司 寛志 氏
駒澤大学

総合教育研究部 自然科学部門 講師

東北大学大学院を修了後、東京理科大学、東京大学などを経て、現職。カメなどが卵の時に経験する温度によって性別が決まるまでの様子を実験的に調べるなど、環境の温度と生き物との関係について様々な研究に携わる。



フィールド案内

羽村 太雅 (手作り科学館 Exedra 館長)

東京大学大学院で地球外生命を探索する研究に従事した後、国立天文台で天文学の普及・教育に尽力した。科学、特に天文・宇宙系の講座を多数開催。現在は江戸川大学・気象大学校 非常勤講師、日本サイエンスコミュニケーション協会 会長なども務める。

手作り科学館 Exedra

千葉県柏市に古い空きアパートをスタッフがDIYで改修した科学館。化石発掘体験や望遠鏡工作など、常時10種以上の実験や体験ができる。週末のみ開館。予約優先制。

研究部

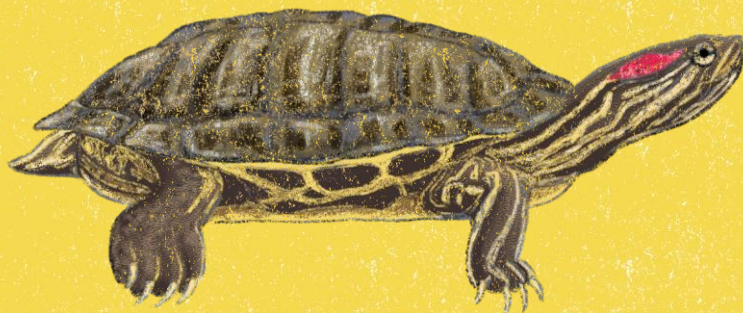
小中学生をジュニア研究者に育てる活動。科学館に毎月2回通い、実験などを通じて研究に必要な知識や技術を培い、2年目以降は大学院での研究経験のあるスタッフとともに研究に取り組む。



手作り科学館 Exedra
<https://seledra.stars.ne.jp/>



研究部
https://note.com/sci_edu_lab
https://note.com/sci_edu_lab



主催 一般社団法人サイエンスエデュケーションラボ(手作り科学館 Exedra) / あけぼの山はなやぎプロジェクト(あけぼの山農業公園) 後援 柏市



<https://seledra.stars.ne.jp/>



https://www.instagram.com/diymuseum_exedra/



<https://www.facebook.com/DIYMuseum.Exedra>



info@exedra.org



070-9222-9523

本事業は柏市チャレンジ支援補助金の交付を受けて実施します。